

世界にはばたくピアニスト

酒田市希望音楽祭2016支援事業



# 河村尚子

## ショパンの夕べ



3つのマズルカ Op.59

即興曲第4番 嬰ハ短調  
《幻想即興曲》 Op.66

ポロネーズ第7番 変イ長調  
《幻想ポロネーズ》 Op.61

24の前奏曲 Op.28



CNEW2106 Hirofumi Isaka 尾坂浩文

酒田市民会館 「希望ホール」

2016. 11. 10 [木]

開場 / 18:30 開演 / 19:00

◎チケット発売日 平成28年8月20日(土)

特別指定席 3,500円

一般 3,000円 / 学生 1,000円

※特別指定席は前売のみ ※一般・学生は当日各500円増

◎プレイガイド

酒田市民会館「希望ホール」、  
マリーン5清水屋、  
みずほ八文字屋、  
イケダ楽器、畠山楽器

お問合せ 上田 tel.0234-23-1821

主催 / 河村尚子ピアノリサイタル実行委員会

後援 / 酒田市芸術文化協会、酒田市音楽団体協議会  
共催 / 酒田市民会館「希望ホール」自主事業企画運営委員会

# 河村 尚子 (ピアノ)

Hisako Kawamura

1986年渡独後、ハノーファー国立音楽芸術大学在学中に数々のコンクールで優勝・入賞を重ねる。2006年ミュンヘン国際コンクールで第2位受賞後、翌年、多くの名ピアニストを輩出しているクララ・ハスキル国際コンクールで優勝を飾り、大器を感じさせる新鋭として、一躍世界の注目を浴びる。

ドイツを拠点に、欧州各地で積極的にリサイタルを行う傍ら、ウィーン響、バイエルン放送響、チューリヒ・トーンハレ管、ロシア国立響、モスクワ・ヴィルトゥオーゾ、ミュンヘン室内管などのソリストに迎えられている。また、ルール・ピアノ祭 (ドイツ)、オーヴェール・シュル・オアーズ (フランス)、ドシュニキ (ポーランド) 等の音楽祭に参加。2011年ドミトリエフ指揮サンクトペテルブルグ・フィルと本拠地サンクトペテルブルグで共演、ドイツ・ワイマール近郊のエッタースベルク城での音楽祭でアーティスト・イン・レジデンスをつとめ、4夜にわたるソロリサイタルを開催し、絶賛を博す。室内楽では、日本やドイツでの共演を重ねる実力派クレメンス・ハーゲンとのデュオを筆頭に積極的に取り組み、2015-16シーズンには、M.ホルヌング (チェロ) とロンドン・ウィグモアホール、R.オルテガ・ケロ (オーボエ) とニューヨーク・カーネギーホールでのデビューを含め、同世代の実力派アーティストたちとも多角的な活動が展開される。

日本では、2004年東京フィルハーモニー交響楽団の定期公演でデビュー。国内主要オーケストラと相次いで共演を重ねる傍ら、フェドセーエフ指揮モスクワ放送響、ルイーダ指揮ウィーン響、ヤノフスキ指揮ベルリン放送響、プレトニョフ指揮ロシアナショナル管の日本ツアーに参加、また2013年10月には、ピエロフラーヴェク指揮名門チェコ・フィルと本拠地プラハ及び日本公演のソリストとして共演し、大成功を収めた。その他、準メルクル、ノリントン、インバル、ラザレフ、テミルカーノフ他多くの国内外の指揮者と共演し、度々再演の指名を受けている。2016年6月には、山田和樹指揮バーミンガム市響とイギリスおよび日本ツアーで共演。

2009年名門 RCA Red Seal レーベルより「夜想 (ノットウルノ) ~ ショパンの世界」でメジャー・CDデビュー。その後、「ショパン：ピアノ・ソナタ第3番&シューマン：フモレスケ」(2011年)、「ショパン：バラード」(2013年)に続き、2014年9月には4枚目として、日本デビュー10周年アニバーサリーを記念した「ラフマニノフ：ピアノ協奏曲第2番&チェロ・ソナタ」をリリースする。その他、仏ディスコヴェール、独アウディーテ、ルール・ピアノ音楽祭エディション (ライヴ録音) などレコーディング多数。文化庁芸術選奨文部科学大臣新人賞、新日鉄音楽賞、出光音楽賞、日本ショパン協会賞、井植文化賞、ホテル・オークラ賞を受賞。

これまで、ウラディーミル・クライネフ、澤野京子、マウゴルジャータ・バートル・シュライバーの各氏に師事。2011年5月よりドイツ・エッセンのフォルクヴァング芸術大学にて非常勤講師を務め、2015年10月、同大学教授に就任した。兵庫県西宮市生まれ。



©131 Hirofumi Isaka 居坂浩文

オフィシャル・ホームページ  
<http://www.hisakokawamura.com/>